

長内稔さんご逝去のお知らせ

魚と水編集委員

平成 22 年 10 月 25 日、当場の元副場長、長内稔（おさないみのる）さんが多臓器不全によりご逝去されました（享年 81 歳）。

長内さんは、昭和 28 年に当場の前身である北海道立水産孵化場に採用され、平成元年に退職されるまでの間、多くの職を歴任され、昭和 59 年からの昭和 63 年までの 5 年間は副場長を務められました。長内さんは、陸水学の分野で湖沼のプランクトンを専門に研究をされてきた方ですが、その豊富な知識をもとに、さけますの生態に関する研究にも精力的に取り組まれ、多くの優れた研究成果を残されてきました。1960 年代には、湖沼におけるサクラマス資源の増殖に関する研究（例えば長内、1962）を皮切りに、さけますの資源培養に関する研究を数多く手がけられ、現在私たちが取り組んでいる研究分野の基礎を築いてこられました。中でも、サクラマスの産卵生態に関する研究（長内・大塚、1967）については、C. Groot と L. Margolis により編纂されたサケ属の生活史研究の大著、Pacific Salmon Life Histories (Groot and Margolis, 1991) において、サクラマスの産卵生態に関する記述 (Kato, 1991) の随所で引用されるなど、世界的にも大変貴重な、また著名な研究として知られています。

その長内さんが、先にご紹介しましたとおり、昨年 10 月にご逝去されました。職員一同、心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、職場の大先輩であり、また偉大な研究者である長内さんの死を悼み、生前の思い出について、当场 OB の粟倉輝

彦さん（元場長）と現職（研究主任）の安藤大成さんから寄稿いただきましたのでここにご紹介いたします。

引用文献

長内稔 (1962). 陸封型サクラマスの生態調査 I. 雨竜人工湖の故郷の遷移と湖産サクラマスの食生について. 北海道立水産孵化場研究報告, 17: 21-29.

長内稔・大塚三津男 (1967). サクラマスの生態に関する研究 I. 遼河サクラマスの形態と産卵生態について. 北海道立水産孵化場研究報告, 22: 17-32.

Groot, C. and Margolis, L. (1991). Pacific salmon life histories, UBC Press, University of British Columbia, Vancouver, British Columbia.

Kato, F. (1991). Life histories of masu and amago salmon. Pages 447-520 in Pacific salmon life histories, C. Groot and L. Margolis, editors. UBC Press, University of British Columbia, Vancouver, British Columbia.

(うおとみずへんしゅういいん)